

すわみつえ通信

No.150 2020年11月23日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

11月25日(水)より12月14日(月)まで20日間の日程で12月議会が始まります。笠原小学校廃止の条例改定議案が提出

12月市議会始まる

11月18日(水)に「笠原小学校を守り育てる会」は笠原地域・市内外の皆さんの声を提出しました。1か月の短い期間でしたが、多くの支援のもと署名という形に集まりました。舞台は議会に移ります。子どもたち・地域の思いをしつかりと受け止めて臨みます。



市長政策室で要望署名を職員に手渡し、笠原小学校を守り育てる会の代表(左)=11月18日

●4251名の請願署名を
鴻巣市議会議長に
●4426名の要望署名を
鴻巣市長に

笠原小学校の存続を
求める署名を提出!!

12月議会の主な日程

- 11月25日(水) 本会議(議案・請願の上程、説明)
- 11月30日(月) 本会議(質疑・討論・採決・委員会付託)
- 12月 1日(火) 文教福祉常任委員会・まちづくり常任委員会
- 12月 2日(水) 政策総務常任委員会・市民環境常任委員会
- 12月 4日(金)・7日(月)・9日(水)・10日(木) 一般質問
- 12月14日(月) 本会議(委員長報告・質疑・討論・採決)閉会

*すわみつえ議員の一般質問は、12月10日(木)13時頃からです。

されます。市民の声が届く市政となるよう力をつくします。議会開催中は詳細な情報を引き続き、お知らせしていきます。ご意見・ご要望をお寄せください。

コロナ感染防止対策として マスク着用・3密を防ぐ

第3波「コロナ禍」において鴻巣市では59名(11月22日現在)の感染者が出ています。議会でもリスク回避しながら運営していきます。議場では次の「コロナ感染防止対策」を行います。

埼玉県央広域事務組合議会にて

【議場での対策】

- ◆議席・執行部席の全てに
アクリル板設置
- ◆一般質問の時間は、9月議会
と同様に75分が60分に短縮

【傍聴席での対策】

- ◆2席ずつ空けて着座し、15席
まで(15人以上の場合はエレ
ベーター周辺の座椅子に案内)
- ◆記者席は5席を専有とします。

11月17日(火)に開催された定例会の行政報告において、埼玉県が進める消防指令業務共同運用について、任意の協議会及び消防本部内の検討委員会で検討した結果、法定協議会に参加しないことを決定したと報告がありました。鴻巣市・北本市・桶川市で構成される県央消防は本来なら第一ブロックの上尾・伊奈との組み合わせですが、今回参加してきた協議会は第四ブロックの「埼玉西消防局(所沢市・飯能市・狭山市・入間市・日高市)」です。入間市が抜けたことから、当組合に声がかかったとのこと。消防指令業務の共同運用に関しては課題も多くあると思われることから、今回の「参加しない」決定は良かったと思います。

俳句コーナー

みな笑顔 けんちん汁と
栗ごはん

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

罪に問われ死の宣告を受けた古代の哲学者は、こう言い残しました。「去るべき時が来た。私は死ぬために、諸君は生きつづけるために。しかし、どちらがよりよき運命に出あうか。それは神よりほかに知る者がない」▼プラトンが記した『ソクラテスの弁明』の最後の一節は「神のみぞ知る」の語源とも。その言葉を引いた閣僚が批判を浴びています。「感染がどうなるかっていうのは、ほんとうに神のみぞ知る…」。コロナ対策を担う西村担当相の発言です▼いまの政府の無策ぶりを象徴する無責任さ。第3波が襲い全国で感染がひろがっているのに、呼びかけるのは会食の仕方ばかり。やれマスクをしてだの、静かに食べてだの。そんなことしか発信できないのか▼ようやく「G o T o」事業の見直しを言いましたが、行楽シーズンの連休で入出は各地に。これまで散々あおっておきながら、はしごを外され不信感が募る人も多い▼ここにきて中高年層への感染が増え、医療現場は緊迫しています。病床や人員、検査体制をどう確保するか。そうした支援に尽力するわけでもなければ、感染を抑え込む戦略もみえない。国民のために何をなすべきか、根本となる考えがないからでしょう▼知らないことを自覚する一。ソクラテスは「無知の知」を己の哲学の出発点としました。それは、ただ生きるのではなく、よりよく生きるための指針でもあったといいます。そんな人類の知恵や教訓を説いたところで、恥を知らない政権には響かないか。

しんぶん赤旗
11月22日付

「G o T o」運用見直しへ

政府時期・対象地域説明せず

政府は21日、新型コロナウイルス感染症対策本部（本部長・菅義偉首相）を首相官邸で開き、感染拡大の「第3波」が広がり、政府への批判が強まる中で、前日の対策分科会が提言した「G o T o キャンペーン」の見直しを決めました。しかし、実施時期も対象地域も説明しませんでした。

菅首相はトラベル事業について「感染拡大地域を目的とする旅行の新規予約一時停止などの措置を講じる」と表明。イト事業についても、「食事券の新規発行の一時停止やポイント利用を控えることの検討を要請する」と述べました。他方、医療施設や介護施設等で陽性者が確認された場合について「入所者・従業員全員に直ちに国の費用負担で検査を実施する」と述べました。

一方、西村康稔担当相は同日の会見で記者の質問に答え、「G o T o トラベル」が感染を拡大しているというエビデンス（根拠）はない」と責任ののれを主張しました。政府の対策分科会は20日、「G o T o キャンペーン」について、感染拡大地域を対象に適用除外などの見直しを提言していました。

見直し「遅すぎる」 小池書記局長が批判

日本共産党の小池晃書記局長は21日、遊説先の愛知県内で、政府の「G o T o トラベル」見直しについて問われ、「遅すぎるし対象地域も狭すぎる。連休に入り、すでに各地で多くの人が出がえられ、旅行を予約してしまった人もたくさんいる。野党や医師会が感染拡大を懸念し見直しを求めてきたのに判断が遅れた」と厳しく批判。「さらに感染が広がれば政府の責任はますます重大だ」と述べました。

また菅義偉首相が記者会見を開かないことについて「自ら国民に説明しない姿勢も極めて無責任だ」と重ねて批判しました。



観光客で混雑する小町通り
＝21日午後、神奈川県鎌倉市

自助
対策はこれだけ？
白川ただし

カピバラも温泉で一息 狭山・智光山公園こども動物園



埼玉県狭山市の智光山公園こども動物園で11月21日から、恒例のニホンザルとカピバラの「どうぶつ温泉」が始まる。開催を前にカピバラ2頭の入浴姿が報道陣に公開された。

南米・アマゾン川流域に生息するカピバラは、寒いのが大の苦手。飼育場では水浴び用の水槽に38度ほどの湯が張られ、「打たせ湯」付きの風呂おけも用意された。最初は遠巻きにしていた2頭も、しばらくすると自分から湯につかり、気持ちよさそうにじっとしていた。

来年3月末まで、土日祝日は午前11時45分からニホンザル、午後1時からカピバラの入浴を公開。飼育担当者による説明もある。

（朝日新聞デジタル 11月21日付）